

新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金と

保険料減免制度の改善を求める請願書



紹介議員

井上けんじ



## 請願の趣旨

新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の対象者の拡大と保険料減免制度の改善を行うこと

## 請願の理由

新型コロナ感染者が過去最高を更新する中、高齢者のいのちと健康・暮らしが厳しい状況になっています。こうした中で、国民の高齢期の適切な医療を確保するという理念を保障するために制度の改善が求められます。

第一に、新型コロナウイルス感染症対策としてつくられた現行の傷病手当金制度は、事業主やフリーランスを対象にしていません。広域連合議会として、国に傷病手当の対象を事業主やフリーランスにも拡大・充実するよう強く要請するとともに、国の改善を待たずに、京都府後期高齢者医療広域連合として傷病手当の対象者を、事業主やフリーランスにも拡大してください。

第二に、新型コロナウイルス感染症の影響による保険料減免制度は、「コロナ禍の影響で、事業収入などが前年比30%以上の減少が見込まれる場合」を要件の一つとしています。しかし、2021年度の比較年度が2020年とすると、コロナ禍で大きな影響を受けた前年よりもさらに30%売り上げが減少しなければ、減免を受けられないことになります。事業収入減少の比較は、新型コロナウイルス感染症拡大以前の2019年とすべきです。そうでなければ、高齢者のいのちと暮らしを守ることはできません。

2021年8月13日

京都府後期高齢者医療広域連合議会議長

下村 あきら 様

請願者 住所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都6F  
氏名 京都社会保障推進協議会議長 渡邊 賢

